

# ひびき

発行・編集責任者／取手市議会議長 入江 洋一  
 発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局  
 〒302-8585 茨城県取手市寺田5139  
 電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)  
 ファクス 0297-74-1990  
 ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>  
 e-mailアドレス [gikai@city.toride.ibaraki.jp](mailto:gikai@city.toride.ibaraki.jp)



取手市議会だより第231号  
 2020(令和2)年1月15日発行

<紙面から>

令和元年第4回定例会が11月29日から12月12日まで開催されました。

また、今回で4回目となる市議会と取手第二中学校との協働事業の様子は特集で1・2ページに掲載した他、現在の議員任期が2月14日までであることから、この4年間の出来事を振り返る特集を10ページに掲載しました。その他、紙面各所にQRコードを掲載いたしました。記事の詳細資料やホームページにリンクしています。

**注目**  
 ■議員と生徒が未来を語る …………… P1・2  
 ■紙版ひびきが終了、Web版へ …………… P1・7  
 ■任期4年の市議会を振り返る …………… P10



市議と生徒議員が提案について理解を深めました

## 取手二中との協働事業 議員・生徒 未来語る

取手二中の代表生徒22人が12月13日に議場を訪れて、取手市議を前に自らの提言案を発表しました。6班の案が提出され、これらに生徒議員や取手市議が「質疑」をぶつけると、班の生徒で相談しながら「答弁」。生徒議員がお互いの案に対して賛成・反対を示す「表決」は、市議と相談した上で自らの意思で行い、3案を可決、これを取手市議会議長に手渡して協働事業を終えました。この日に先立って11月26日には、市議らが二中の教室を訪れて議会について講義したり、提言案への助言を行いました。議場で可決された案を発表した生徒は「本当に実現されたら素晴らしいこと」と議場での体験を振り返りました。(2ページへ続く)



説明には表や写真スライドを用いて



市議会議員が見守る中(写真奥)、生徒が議員となって政策提案を発表

### 議会報 ひびき 紙発行をやめ Web版へ

- 令和2年度から
- 市ホームページへの掲載
- 紙の概要版は公共施設等に配置
- 3 / 1 が紙発行最後

詳細は7ページをご覧ください



質疑には相談しながら熱心に答弁



二中の教室では市議の出前授業も行いました

# 生徒提案対話で深める

(1ページ続き)

取手第二中学校3年生の全6クラスから、代表の1班ずつが生徒議員として来場しました。議場に代表生徒はまず投票によって、中村柚葉さんを生徒議長に選出。その後各班の提言を演壇で発表し、質疑に対して班で相談しながら回答していききました。各案に賛否を投じる前には、生徒と市議会議員が相談できる時間があり、提案への理解をより深めました。

可決された3案を、取手市議会議長に手渡した生徒議長を務めた中村さんは「政治に少し関心が持てるようになりました。他の生徒にも広がるとよいと思います」と感想を話しました。(詳細は市ホームページをご覧ください)



入江市議会議長に可決した3案を手渡した中村さん(右)



二中に出向いての授業



議場でも生徒と市議が対話しながら提案について理解を深めました



## 市長提出議案

### 条例制定・改正



**議案と討論**

賛成 反対

第4回定例会で審議され、討論が行われた議案の結果、討論の概要をお伝えします。討論は、表決の前に賛成・反対の意見を表明し、自らの考えに賛同する者を得ようとするものです。議案には、市長が提出する予算案・条例改正案・人事案件などの他、議員が提出するもの(意見書案・決議案等)があります。市長提出議案・議員提出議案の内容はそれぞれのQRコードから確認できます。

### 大学新卒採用市職員 基本給月額 (改正前後比較)

改正前	改正後
180,700円	182,200円
(1,500円↑)	

初任給が民間(平均210,200円※厚生労働省調べ)との間に差があることを踏まえた条例改正、平均0.1%引き上げ。

**遠山議員**：公務員の賃金が下がると、消費動向にも影響を与え、生活向上には程遠いが、職員組合が了解したことを確認した。賛成。

**市道路占用料条例の一部改正**：可決

**染谷議員**：改正により営利目的でも公共性が認められれば、占用料を免除できる。バス停のベンチ等の設置が可能となる。一日も早い実現を。賛成。

**市職員の給与に関する条例等の一部改正**：可決

**結城議員**：ストライキ権のない公務員の給与改定は人事院勧告によるもので非常に重要。賛成。

**池田議員**：市の財政が非常に厳しい中の給与増には悩んだが、公務員は人事院勧告でしか改定できない。また、若い世代に手厚い内容となっている。賛成。

●一般会計補正予算(7号) 可決

市役所本庁舎の非常用発電設備改修、取手図書館空調設備改修、人事院勧告に伴う人件費の増額等

吉田議員：本庁舎の非常用発電設備は、災害時に市民にいち早く災害関連情報を提供し、応急処置対応を行うなどの機能維持するためには電力の確保が必要不可欠。

取手図書館の空調設備改修事業について、利用者が快適に利用できる環境に万全を期すことは大変重要。賛成。

●一般会計補正予算(9号) 可決

台風15号に伴う被災住宅復旧緊急支援事業補助金、とりで住ま入る支援プラン申

市内での新たな住宅取得などに対して補助が出ます

とりで住ま入る支援プラン

- 1. 住宅取得補助金
2. 住宅リノベーション補助金
3. シニア世帯の持ち家活用による住み替え支援補助金

詳しくは市ホームページをご覧ください



し込み件数増による増額等 齋藤議員：罹災証明書発行済みのものは郵送で補助金の通知もしている。

「とりで住ま入る支援プラン」を活用し、定住人口増を期待。賛成。

その他

指定管理者の指定(ウエルネスプラザ・ウエルネスパーク) 可決

加増議員：公の施設の指定管理制度的問題点に加え、営利企業による指定管理も問題。ウエルネスプラザの指定管理はやめ、市で管理運営すべき。反対。

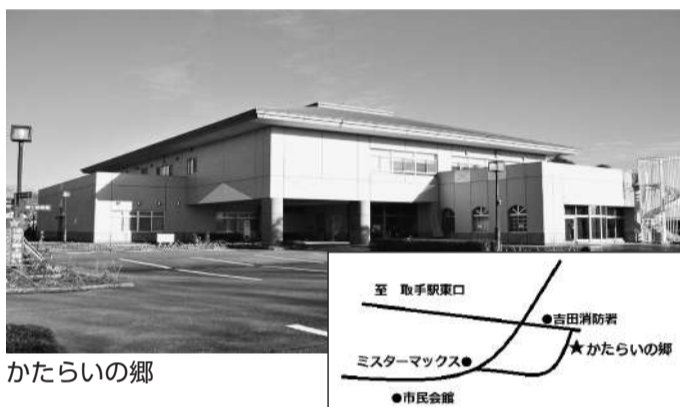
山野井議員：「とりで健康づくりパートナーズ」が、市民交流、健康づくり、子育て支援事業を進展させることで、中心市街地がさらに活性化することを期待。賛成。

池田議員：平成30年度決算の中で、どの部屋も利用数が伸びている。2期目に期待。賛成。

指定管理者の指定(かたらしいの郷) 可決

加増議員：公的施設の市場化では利益優先の福祉施設となる。指定管理者でなく市で管理運営を。反対。

池田議員：「日本環境マネジメント(株)」は、1期目の利用実績をしっかりと分析し、2期目の運営に生かすためにいろいろな提案をし



阿部議員：かたらしいの郷は、世代間の交流および高齢者の生きがい増進を目的として設立。2期目の運営は、多世代が集まり、生きがいが増進し、喜びと癒やしを得られる施設となることを目指すと説明。当初の目的、今後の目標達成に期待。賛成。

教育委員会委員の選任(石隈利紀(69) につくば市、猪瀬哲哉(45) 浜田) いずれも同意

結城議員：新任の方が入ることにより、内部からしっかりととした形になる。2人の選任に賛成。

佐藤(隆)議員：生徒たちの気持ちを理解し、保護者、教員、地域の方に理解される人材は大切。2人の選任に賛成。

議員提出議案

意見書

首相主催「桜を見る会」の疑惑の真相解明を求める意見書：否決

提出者

関戸議員他1人

加増議員：「桜を見る会」を巡る問題は、次から次へと新事実が明らかになる中、疑惑が深まるばかり。この問題を見逃すわけにはいかない。賛成。

池田議員：公文書破棄の問題や公職選挙法、政治資金規制法違反の疑いも出されている。真相解明していただきたい。賛成。

国民健康保険税を協会けんぽの保険料並みに引き下げること求める意見書：否決

提出者

小池議員他1人

遠山議員：国民健康保険を支えるのは国の責任。国保税が払えず治療が受けられない事態などあってはならない。議会一丸となって国保問題の改善に力を尽くしていきたい。賛成。

決議

ひきこもり支援推進を求める決議：可決

内容

「誰一人取り残さない」ため、社会の中でその人らしく生きていけるように①相

談窓口を明確化するとともに、複数の専門機関との連携を図る②アウトリーチ型機関の設置や人材育成のための予算措置を講ずる——このひきこもり支援推進を求める。

提出者

福祉厚生常任委員長 阿部洋子

就農者と共に「未来ある農業」を守り・育てるための決議：可決

内容

これからの農業の課題に対し、情報共有と連携強化、農産物や加工品の情報発信、持続可能な農業を目指すため①農業従事者と対話を重ね「魅力ある農業」を目指す②農産物と加工品の

PR・販売サポートの強化を通じたブランディングを行う③取手市の農業に興味・関心を持たせる情報発信に努める④取手市で就農したくなる受入体制の充実と継続的な就農者の受入・育成に努める——このさらなる推進を求める。

提出者

建設経済常任委員長 岩澤 信

池田議員：建設経済常任委員会にて、若手農家との意見交換参加者から感謝の言葉があった。販売サポート強化でブランディングがとでも楽しめ。賛成。

※ブランディング：他と明確に差別化できる個性を作り上げること

令和2年1月26日(日) 取手市議会議員一般選挙

市役所本庁舎・藤代庁舎・取手駅前窓口で期日前投票を行います。1月20日(月)～1月25日(土)



平成30年10月に聖徳大学付属取手聖徳女子高と市選管が共同で選挙啓発動画「選挙に行こう!」を制作しました。

市議会議員は、条例や市のお金の運用などの決定や、市の運営が正しいかをチェックし、疑問点や問題点を言及する市民の代表です。1月26日はその代表24人を決める4年に一度の選挙です。皆さん選挙に行きましょう!

# Q 一般質問 A

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。この質問を「一般質問」といいます。今定例会では、22人の議員が一般質問を行いました。各議員のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、当日の一般質問の様子がYouTubeの動画でご覧になれます。

## 成年後見制度 さらなる充実を

齋藤久代



**問** 成年後見制度は、今後さらに地域包括支援センター、成年後見サポートセンターと、市民も含めた後見人の3者が重要。その体制は。

**答** 福祉部次長 両センターの機能強化を検討。後見人引き受け手の増加に向けてNPOをサポートしていく。

**問** 成年後見人の消費者保護の観点の取り組みは。

**答** 判断能力が不十分な人の被害防止に消費者安全確保地域協議会を設置することができ。この機能と成年後見制度等利用促進連携協議会を併せた組織により、達成していきたい。

**問** 当市は全国的にも取り組みが進んでいる。国の調査事業に参加、その中身は。

**答** 厚労省の研究事業で、先進事例を紹介する事例集を作成。全国約50の自治体から選定され、今年度冊子が完成する。

## 災害時の情報と 地域との連携

小堤 修



**問** 災害時の市政協力員との連携は。

【その他の質問】防災



台風による倒木(取手西小学校)

**総務部次長** 地域の連絡調整役を担っていただいている。今回の大雨では、高齢世帯への避難誘導や空き家の見回り、倒木の処理などを実施いただいている地域もあった。

**問** 避難行動要支援者の支援プラン作成の進展は。

**答** 社会福祉課長 新システム構築を通じて要支援者台帳の精査が必要。

**問** 地域で要支援者と支え合うために何が必要か。

**答** 避難行動要支援者台帳や個別支援プランを利活用。普段からの近所とのコミュニケーションが大事。

**問** 災害対策本部の情報整理の課題は。

**答** 安全安心対策課長 何をどのタイミングで発表するか、課題を整理して的確に発信。

**問** 災害への行政の課題は。

**市長** 災害の規模が大きくなっている。対策に当たる組織として人材育成が急務。

【その他の質問】市の広報

## 魅力となる 就学前英語教育実施を

吉田 宏



**問** 保育所における幼児教育の現状は。

**答** 福祉部次長 遊びを通じて知識の基礎や学びに向かう力が身に付くよう、日々の保育で取り組んでいる。

**問** 小学校入学前の英語教育の必要性については。

**答** 福祉部次長 保育所の役割は、学びにつながる基礎づくりと生涯にわたる生きる力の基礎づくりの場。まずは生活の場での体験を通じて学びに向かう力を育成。

**問** 市立藤代幼稚園での英語教育は。

**答** 教育部長 4・5歳児が月1回外国語指導助手からのレッスンと一緒に給食を食べる等の交流を実施。

**問** 小学校入学前全ての子どもに英語教育を。



藤代幼稚園での外国語指導助手(ALT)

## どもに英語教育を。

**福祉部次長** ニーズ調査では4番目に幼児教育充実の声が上がった。今後、検討。

## 見直しせよ！ 特定健診会場

阿部洋子



**問** 市特定健診は、旧藤代保健センター、現障害者福祉センターふじしろを会場としている。その際、障害者福祉センター通所者は、普段と違う場所等で作業するため、感情のバランスを崩すなど、家族や本人が大変な思いをしている。障害者差別解消法に定める合理的配慮を求める。健診を他会場に。

**健康増進部長** 平成27年度に二つの保健センターを統合する際、旧藤代保健センターでの健診を継続すると約束。昨年、指摘いただき平日の健診日を8日から4日に減らした。配慮は必要。

**問** 市職員と藤代庁舎が使えないか現地を確認したが、実現不可能なのか。

**答** 検診車の配置、待合室、心電図用個室の確保、平均70歳を超える2千人の受診者の移動も考慮する必要があり、難しい。

【その他の質問】災害時に

おけるペットの避難・緊急通報システム・共生社会を旨とした「あいサポート運動」への連携協定

## 子どもの学習環境 さらなる充実を

池田 慈



**問** 子ども・子育て支援事業計画は行った事業の報告となっている。5年後に向けたイメージを盛り込んでほしい。

**福祉部次長** 指標で見ているが、児童福祉審議会委員からも同様の意見があるので考慮していきたい。

**問** 中高生の居場所として図書館の夜間開館を。

**教育部長** 平日夜間のニーズは低いので時間延長は考えていない。

**問** この計画の対象は18歳未満となっているが、未就学児がメインとなっている。福祉部局と教育委員会で綿密な話し合いがあるのか。

**福祉部次長** 計画策定には関係課との調整会議を設置。審議会に關係する全課が出席。教育、福祉部門が連携して未就学児から小学校への円滑な移行に努めている。

【その他の質問】AED設置・大型台風通過で困ったことや不安であったこと・市メールマガジン登録率アップ

## 災害時を想定した避難所と危機管理

落合信太郎



**問** 避難所の備蓄にテント式パーティションの導入を。安全安心対策課長 プライバシーの確保は重要な課題。研究していく。

**問** 塩と水を入れるだけで約80時間発電するランタンがある。携帯充電にも使用できる商品もある。導入を。提案された商品も含め、電源確保に取り組む。

**問** 静岡県では災害等による全ての危機を一元的に総括・調整する危機管理監を配置。取手市の考えは。政策推進部長 今回の台風・大雨の際に災害対策本部で対応したが、多くの改善点や問題点が指摘された。その課題解決が先決。

**問** 防災士資格者の人数は。安全安心対策課長 安全安心対策課に6人。配属された者には取得を促している。**【その他の質問】** 安全安心な新たな町づくり

## 子どもを守る交通安全対策

染谷和博



**問** 保育中に散歩する子どももの交通事故が相次いでいる。当市の対応は。福祉部長 11月に国から



保育園児の散歩

キッズゾーンの設定推進の通知があった。これは保育施設から半径500m地域で、運転者への注意喚起表示を整備するなどの対策。市はこれまで散歩コースの安全を見直し、93カ所の危険箇所洗い出しと優先対策箇所の改善を進めた。キッズゾーンは今後の検討。

**問** キッズゾーン範囲の指定などは体制の拡充がないと進まないのでは。答 関係機関が集まる対策会議を発展させた対応で予定したい。

**問** ゾーン30の指定をすればいいのでは。答 ゾーン30、スクールゾーン、シルバーゾーン等、危険な箇所については必要などところも出てくると認識。

**【その他の質問】** 就職水河期世代支援・行政手続オンライン化、自動化・行政の災害時SNS活用



取手小での地域連携防災訓練

## 進めよ！消防団員確保

金澤克仁



**問** 取手市消防団の現状は。消防長 団員数529名、うち女性消防団員23名、平均年齢が40歳。

**問** 時間や任務を限定して活動する機能別消防団員制度を導入する自治体が県内で増えている。当市でも必要と考えるが、検討状況は。消防次長 今後、調査研究。

**問** 自動車運転免許制度の改正によって準中型が創設された。今後、入団する若い人たちは消防団車両を運転できない課題がある。これまで他の議員が、準中型免許取得への援助制度を提案しているが、検討状況は。答 助成制度創設に向けて進めている。

**問** 現消防団員の該当数は。答 4名。

**問** 取手小で地域連携防災訓練が行われた。素晴らしい取り組みであり、市内各

校でも実施していくべき。指導課長 取り組めるよう後押ししていきたい。**【その他の質問】** 利根川増水時の対応

## 藤代中周辺冠水将来対策と即時対策

佐藤隆治



**問** 大雨で藤代中学校周辺道路が冠水し、非常に危険。周辺には高齢者福祉施設もあり、早急な改善が求められる。冠水の原因に北浦川の越水があるようだが、北浦川改修の積極的な推進を。市長 県が管理する河川であり、相野谷川の改修と併

に県への最優先要望の一つ。強くアピールしたい。

**問** 道路が冠水すると、側溝の位置が分からず脱輪やけがなど危険。まずは短期的な対策を求む。建設部次長 冠水時でも側溝の位置が分かるポストコーンと呼ばれるポールの設置や、道路起伏への対策も検討していきたい。

**問** 道路の高さを調整でき



藤代中前道路冠水

れば、この冠水は解消されるのではないかと。答 道路に高い所と低い所があるのは確認できるので、どの程度なのか確認して対応を考えたい。

## アートのある町取手へ芸術振興施策を推進

飯島悠介



**問** 文化芸術推進策の一つに東京芸術大学卒業制作への市長賞がある。その後の作者の活躍などの把握は。政策推進部長 これまでの作品を一堂に会する機会を検討中。作者のその後の把握は非常に難しいが、芸大関係など把握できる部分で企画展の開催を考えたい。

**問** 芸大、J.R、アトレ（ボックスヒル運営会社）、市による4者協定で「たいけん美じゅつ場(VIVA)」がオープンする。状況は。市長 先日、東京芸大、日

比野学部長と話した。この多くの利用者が、自発的なルールの下に、来館者に刺激を与えて巻き込んでいけるかどうか試される。これから育てていければと思う。

**問** 文化芸術の指針策定を。政策推進部長 当面は総合計画や教育振興基本計画で文化行政振興を明記。**【その他の質問】** 行政マーケティング

援



フラワータウン公園

## 子育て世代の定住に魅力的な公園整備

石井めぐみ



**問** 魅力的な公園の整備は子育て世代の定住化という視点で重要。市の考えは。福祉部長 1月から井野な

ない保育所が開所。遊具もある多世代交流・防災機能を兼ね備えた広場を設置。

**問** 公園への遊具の設置要望はどのくらいあるか。水とみどりの課長 昨年、今年で各1件。

**問** 藤代フラワータウン内の公園に遊具設置要望が出されている。検討状況は。答 フェンス等の危険回避のための整備が優先だが、自治会や公園利用者と協議し、バランスを考えて検討していきたい。

**【その他の質問】** 有機農業の推進・就職水河期世代支援

# 必須！ 取手駅東西自由通路

細谷典男



問 取手駅西口に計画されている約30階建ての建物と連動し、国道6号方面まではなのき通り沿いに歩行者デッキ延伸を。

また、東西自由通路がなくては回遊性は実現できない。市の姿勢は消極的。東西自由通路建設に着手すべき。

現在進められている東口からのバリアフリー計画では効果が限定的。即座に中止し、駅前デッキの拡充・延伸と、東西自由通路建設への考え方を明らかにせよ。

都市整備部長 ペDESTリアンデッキの延伸は、バリアフリーや歩行者の安全確保の面から非常に有意義。今後、検討したい。

駅構内のバリアフリー化は、鉄道利用者の安全・利便性向上のために、列車の



取手駅西口のデッキから国道6号方面

安全運行や駅の構造といった制限がある中で計画検討。東西自由通路の必要性は認識。再開発事業の推移を見守りながら、しかるべきタイミングで検討に着手。

## 台風被害対応を教訓に 避難所整備

関戸 勇



問 台風によって避難した車椅子の方が体育館に入らなかったと聞いた。非常時にはスロープを設置すべき。安全安心対策課長 今すぐ

に施設改修は難しいが、資器材の部分での配備を検討。教育部長 市内小中学校でスロープ備蓄は取手二中のみ。2階からでないとして体育館に入れない等、スロープで対応できない学校もある。

問 災害時用トイレ・段ボールベッド・プライバシー確保のための仕切り板等の検証や検討はいつ行うのか。

答 今年度中には検証。問 一時待避所になっている公民館なども避難所に位置付ける必要がある。

答 検討課題に入っている。公共施設の地域その他、民間施設との協定を結ぶことも含め、適切な場所を確保したい。

問 地区の集会所等を避難場所として確保すべき。答 話し合いを進めている。

## 厳しい財政状況 来年度予算の方針を問う

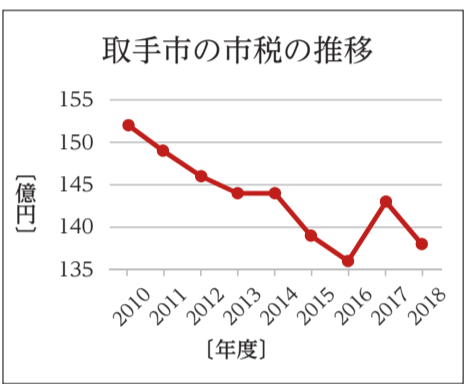
結城 繁



問 平成30年度決算の厳しい財政状況の中、財政体質改善への取り組みは。財政部長 市内大手企業の減収により歳入が大幅減となる。これまで手数料・使用料の見直し、市有財産の処分、人件費削減等を行ってきたが、それを上回る規模で扶助費が膨らんでいる。

問 次期予算編成はどのように進めるのか。答 原則、今年度の予算を上限としている。市民生活に直結する課題等に重点を置きながら歳入に見合った予算編成を進めたい。

問 負担が大きい取手駅西口・桑原開発の考え方は。政策推進部長 市長のマニフェストに明確に位置付け



られ、政策的重要度が非常に高い。推進していく。

問 借金を増やさないために自主財源確保の考えは。財政部長 市有地の売却の他、ふるさと応援寄付金が増えていることも踏まえ、複合的に財源確保に努めたい。

【その他の質問】タバコ問題

## 目的に反する… 高須地区コミュニティバス廃止

遠山智恵子



問 コミュニティバスは、交通空白不便地域の解消や交通弱者に対する交通手段の確保を目的としている。高須地区への運行廃止は、目的に反する。

都市整備部長 「空気を運んでいる」といった苦情のあった利用者が少ない2路線を廃止し、需要の高い地域の利便性を上げる見直しを図った。

問 桜が丘を走っているコミュニティバスを高須公民館まで延伸し、子どもが通学として利用できるよう改善を。

都市計画課長 卒業までの利用となることや夏休みなどの休校日は利用されない課題もあり、スクールバス代替りの延伸は難しい。

問 地域の声を直接聞いていただきたい。都市整備部長 いかに使っていただけか地域の皆さま



桜が丘地区を走るコミュニティバス

## 基金を用いて 国保税減額を！

小池悦子



問 短期保険証、資格証明書発行の廃止を。特に資格証明書は、全額窓口負担となり、命と健康を脅かす。国保年金課長 税負担の不公平が生じないよう法令に従って対処。廃止しない。

問 滞納差し押さえ廃止を。財政部長 督促により納付がない場合、差し押さえなければならぬと法で規定。早期の納税相談により、生活状況に即した納付計画を立てていただきたい。

問 黒字会計となっていて国保会計の基金を用いて国保税の減額を。

市長 当市の国保税は、県内でも極めて低い税額。県が国保財政運営に関与する

制度に変わり、当市の財源が取られてしまうことのないようにしっかりと注視。

問 基金を用いて18歳以下の均等割の全額免除や多子世帯、低所得者層への軽減策実施を。

国保年金課長 平成30年度から減免を実施。国保運営制度が変わったので、4、5年は状況を見て検討。

【その他の質問】空き家対策・地域包括支援センター

## 一日も早い 利根川堤防改修を

渡部日出雄



問 利根川の堤防改修、特に中央タウンの古戸排水機場付近の整備が急がれる。稲築堤工事の経過は。建設部長 これまで江戸川学園バス停付近から取手ふたば文化幼稚園付近まで、向原緑地公園付近を整備。残る古戸排水機場付近の延長約200mは、堤防拡張予定地の用地測量を実施。

問 今後の工事予定は。建設部長 契約が整う時期が不確定のため、具体的な時期は回答できない。

問 築堤工事が完了した場合、どのくらい堤防は高くなるのか。

答 約1m高くなる予定。

問 堤防の一部に砂利道があるが、舗装されるのか。答 築堤工事と同時に舗装。

# 心配だ! 防災対策

岩澤 信



**問** 土砂災害警戒区域に対する避難準備・高齢者等避難開始の発令周知方法は、

**総務部長** 防災無線、ホームページ、メルマガ、エリアメール、SNS、広報車によってお知らせした。

**問** 避難所の取手小周辺は坂道も多く、高齢者が荷物を持って徒歩で避難することは難しい。対策は。

**安全安心対策課長** 地域の方の力が必要。各地区の実情に合った地区防災計画を詰めていきたい。

**問** 安全な避難場所の小学校から、風雨が激しくなった時間に児童を自宅に帰すこととなった。見解を。

**答** 教育委員会としっかり連携を図っていきたい。

# ちょっと見てって

市からの情報がスマホ等に届きます。メールマガジン携帯版に登録しておくと、災害情報や議会情報、イベント情報等が、お手元に届きますので、ぜひご登録を。  
・携帯電話での受信…  
右記のQRコードから  
(<http://www.city.toride.ibaraki.jp/mob/>)



**問** 消防団とどのような連携をとっているのか。

**答** 今後は連携を取っていただきたい。

**問** 自主防災会の方と連絡を取ったが、情報を把握できていなかった。どのような指示をしたのか。

**答** 今後、しっかりと話し合いの中で詰めていきたい。

**問** 多くの方が土手に上がって利根川の水位を眺めていた。一次災害の危険性がある。市として注意喚起を。

**答** 水防団の協力も含め、対策を考えていく。

## 情報発信を! 市制50周年

山野井 隆



**問** 令和2年、市制施行50周年を迎える。市の方針は。

**市長** 次の50年に向けて新たなスタートを切り、未来の子や孫の世代にしっかりとバトンが渡せるよう、魅力にあふれる誇りの持てる町づくりを市民協働で推進。

**問** 50周年事業のスケジュールや事業内容は。

**政策推進部長** 10月4日には記念式典を実施するなど、4月1日から1年間かけて、さまざまな催し物を展開。また、市勢要覧や魅力映像などを作成。

**問** ホームページに50周年の特別サイトで発信を。

**政策推進部次長** 写真や動

画を含めながら紹介していくページを作成していく。

**問** 「市民のうた」作成の進行状況は。

**文化芸術課長** 歌詞フレーズ、コーラスの募集を終え、今後、ビデオ撮影を実施。

**早期整備を  
藤代駅北口周辺道路**

**問** 藤代駅北口から旧国道6号蔵前交差点までの道路改善整備予定は。

**建設部長** 地元から、歩行者の安全対策が一番に挙げられている。説明会を開催して事業に着手していく。

**問** 北口周辺の県道藤代停車場線の整備も課題である。この路線は、昭和55年に決定された都市計画道路だが、人口減少や社会情勢の変化を受け、見直しを進



藤代駅北口から蔵前交差点へ向かう道路

めている市町村がある。この道路を計画通り進めるのか、計画変更して、現実に合った整備を進めるのか。

**都市整備部長** 将来の都市構造を見据えた新しい都市交通体系を検討。全体の方性の検討に着手。

**【その他の質問】** 防災行政・投票率の向上に向けての施策

**中止せよ!  
取手駅西口再開発**

**問** 取手駅西口駅前交通広場の早期整備を。

**区画整理課副参事** 令和3年度から4年度に、新しい交通広場の工事を実施予定。

**問** 駅前ビル解体の現状は。

**都市整備部次長** 6棟中5棟は契約済み。残る1棟も交渉を続けていきたい。

**問** タワーマンションが計画されているが、この再開発計画は中止すべき。

**中心市街地整備課長** この事業の意思決定は、全て権利者の皆さんによるもの。市が行うものではない。

どうなってる?  
職員服務規律

佐藤 清



**問** 市職員の服務規律を伺う。まず、中学生自殺事案の総括として、教育委員会の臨時会の会議の進行や文書の破棄をどのように考えるか。

**教育部長** 臨時会への議案上程手続きの中で、疑問を指摘できず、組織として対応できなかったことは、深く反省している。調査記録文書破棄は、調査委員会解散時に事務局が繰り返し提出を求めたが、委員会の総意で責任を持って破棄すると決定、提出されなかった。

**再発防止策を講じた。**

**問** 生活保護事務に関し、決裁者が相談しながら検討し、決裁しているのか。

**社会福祉課長** 難しい案件は、ケース診断会議を行っている。

**【その他の質問】** 市職員ハラスメント防止策・令和元年災害時の対応

再発防止へ記録の保存について設置要綱に規定したい。

**問** 救急救命士の不適切な行為があった。医療機関との関係は大丈夫か。

**市長** 当該職員の処分を発表した日に、私から院長におわびを申し上げた。

**消防長** 事案発生時の早い段階で医療機関に事実関係の説明と謝罪をし、今後の再発防止策を講じた。

**問** 生活保護事務に関し、決裁者が相談しながら検討し、決裁しているのか。

**社会福祉課長** 難しい案件は、ケース診断会議を行っている。

**【その他の質問】** 市職員ハラスメント防止策・令和元年災害時の対応

## 議会報 ひびき

### 紙からWeb版になります

取手市議会では、これまで紙媒体で発行してきた議会報をやめ、パソコンやタブレット、スマートフォンで読みやすい形の市ホームページによるWeb版議会報へと変更いたします。次の3月1日発行予定の臨時号が紙版最後の発行となります。

この決定については議会運営委員会の中でも協議をし、ICT化が進む世の中への対応や財政的な検討を重ねた結果です。パソコン等が利用できず、紙媒体でしか読むことができない方は、概要版を印刷して郵送いたしますので、1ページ記載の連絡先までご連絡ください。

Web版となることで、カラー化で分かりやすくなったり、写真や動画の利用、フェイスブックなどSNSとの連動がしやすくなります。新Web版ひびきにご期待ください。

# 皆さんの要望 請願

請願は、皆さんが国や県、市区町村に対し、一定の希望を述べる制度です。憲法には、国民の基本的権利として請願権（第16条）が保障されています。議会への提出は議員の紹介を通して行います。

請願の本文は市ホームページをご覧ください。



●総合型地域スポーツクラブ活動拠点確保に関する請願：採択

〔提出者〕  
上江洲朝彦氏 他615人

〔紹介議員〕  
金澤議員

〔討論〕  
齋藤議員：地域のつながりが薄くなる中、孤独を感じる人が増えていると思う。

市内に三つある総合型地域スポーツクラブは、地域に根差したクラブ。公共施設等を拠点に、子どもから大人まで、スポーツだけではなく健康教室やお祭りへの参加など幅広い活動を行っています。



←取手東部わいわいスポーツクラブ



取手セントラルクラブ



とりで西部ふれあいクラブ

将来の市民の健康と温かくながりのある地域づくりのためにも、地域に貢献しているクラブの課題に前向きに取り組んでほしい。賛成。

金澤議員：三つのスポーツクラブは市民の健康づくりや地域コミュニティの充実に寄与してきた。今後、気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを。賛成。

関戸議員：学校の統廃合などで活動する場や活動拠点が減少することが大きな障害に。各クラブの活動拠点の確保を求め、賛成。

●中央タウン西二丁目1及び11付近の雨水対策に関する請願：採択

〔提出者〕  
四分一昭夫氏 他18人

〔紹介議員〕  
細谷議員

〔討論〕  
加増議員：豪雨によって道



冠水した西二丁目地先

路の冠水などの心配が絶えない場所。早急に雨水対策を進め、安心して住める町づくりを。賛成。

細谷議員：靴を脱ぎ、ズボンをまくり上げなければ家にたどり着かない状況。確実に着実に実現できるよ、議会として見守ってほしい。賛成。

●小学校英語教育の中止または延期の意見書の提出を求める請願：不採択

〔提出者〕  
白旗 修氏

〔紹介議員〕  
細谷議員

〔討論〕  
関戸議員：小学校では考える力や文章を理解する力などを育てることが重要。また、英語指導免許を持つ市立小学校教員は少なく、今でも過労死寸前で働く教職員の負担が増加する。賛成。

池田議員：全ての子どもが英語に触れられる機会を設けるため、小学校の5・6年生に対して英語教育を行うことは大事。反対。

●取手市の不当な強制執行と私物の処分謝罪を求める請願

●取手市の不当な情報漏洩の謝罪を求める請願

●取手市による不当な入院による謝罪を求める請願

：いずれも不採択

〔提出者〕  
柳沢夏希氏

〔紹介議員〕  
細谷議員

〔討論〕  
小池議員：請願者の苦しみや悲しみは計り知れない。全ての人の命と人権を尊重する社会、誰一人取り残さない政治の実現に尽力する立場から、この三つの請願に賛成。

●継ぎ接ぎによる名ばかりの取手駅バリアフリー化計画を中止し橋上駅舎方式の合理的平滑的電車乗降移動が可能なバリアフリー化計画を進める請願：不採択

〔提出者〕  
齊藤たかし氏 他223人

〔紹介議員〕  
細谷議員

〔討論〕  
結城議員：議決で動き出したバリアフリー計画を中止すれば、JRとの信頼関係が崩れ、東西自由通路の協力も得られなくなる。反対。

小池議員：東西自由通路と橋上駅舎の一体整備計画の際、市民から反対の声が多数寄せられた。さらに、財政事情からJRは中止を表明し、市長は計画を断念。こうした経緯を踏まえると、この請願は利用者や市民の願いとは相入れないと危惧。反対。

●環境衛生推進事業補助金の復活を求める請願：不採択

〔提出者〕  
佐々木光子氏 他276人

〔紹介議員〕  
細谷議員

〔討論〕  
加増議員：公共下水道や雨水排水整備の遅れから、地域の努力で環境衛生を維持しなければならぬ状況になった。快適な住環境整備は皆の願い。賛成。

池田議員：補助金の申請状況は、平成7年から平成16年までで4件のみ。合併後は申請がない。合併だけが理由で廃止になったとは考えられない。反対。

●白山五丁目付近の雨水対策に関する請願：趣旨採択

〔提出者〕  
岡本敬子氏 他68人

〔紹介議員〕  
細谷議員

〔討論〕  
加増議員：通常の雨の場合にはスムーズに流れているが、豪雨の場合は対応できない。今後、異常気象でどのような事態になるか心配。趣旨採択に反対、請願に賛成。

※趣旨採択：請願に対する議会の意思決定は、会議規則では「採択」か「不採択」の2種類です。しかし、願意は十分に理解できず、現実が困難な場合などに用いる議決の結果として「趣旨採択」があります。

## どうなった？ 採択された請願

議会が採択し、市に対応を求めた請願について、市から次の報告を受けました。

〔件名〕  
自転車の活用推進に関する請願

〔処理状況概要〕  
令和元年度内を目標に協議会の設置に向けて準備中。また、県内外の先進優良事例を参考に調査研究を進め、令和2年度を目標に計画を策定予定。（産業振興課）

令和元年度内を目標に協議会の設置に向けて準備中。また、県内外の先進優良事例を参考に調査研究を進め、令和2年度を目標に計画を策定予定。（産業振興課）



# 令和元年第4回定例会の議決結果

## 賛否が分かれたもの

「○」は賛成、「×」は反対、「」は離席など採決時不在を表します。

議長（入江洋一議員）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

種別	議案名称	議決結果	賛否数	会派名、議員名及び賛否の別																								
				はやぶさ					みらい				公明党			共産党			無会派クラブ									
				賛成	反対	小堤	岩澤	渡部	金城	結城	赤羽	佐藤(清)	関川	石井	吉田	山野井	入江	落合	染谷	阿部	齋藤	小池	関戸	遠山	加増	飯島	細谷	池田
市長提出	指定管理者の指定（かたらいの郷）	可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定管理者の指定（ウェルネスプラザおよびウェルネスパーク）		19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度一般会計補正予算（第7号）		19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出	首相主催「桜を見る会」の疑惑の真相解明を求める意見書	否決	7	16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	国民健康保険税を協会けんぽの保険料並みに引き下げを求める意見書		6	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
請願	白山五丁目付近の雨水対策に関する請願	趣旨採択	16	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	
	つぎ接ぎによる名ばかりの取手駅バリアフリー化計画を中止し橋上駅舎方式の合理的平滑的電車乗降移動が可能なバリアフリー化計画を進める請願	不採択	1	22	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	
	小学校英語教育の中止または延期の意見書の提出を求める請願		5	18	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	
	環境衛生推進事業費補助金の復活を求める請願		7	16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	
	取手市の不当な強制執行と私物の処分の謝罪を求める請願		5	16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	不	○	不
	取手市の不当な情報漏洩の謝罪を求める請願		5	16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	不	○	不
	取手市による不当な入院による謝罪を求める請願		5	16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	不	○	不

## 全員賛成したもの

●市長提出議案（可決）会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例◇地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例◇職員給与に関する条例等（同件名他1件）・自転車駐車場の設置及び管理に関する条例・道路占用料条例・印鑑条例、それぞれの一部改正◇令和元年度一般会計補正予算（第8号）（第9号）◇令和元年度取手駅西口都市整備事業・国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険、それぞれの特別会計補正予算（承認）令和元年度一般会計補正予算（第6号）の専決処分（同意）教育委員会委員の選任（石隈利紀氏）・（猪瀬哲哉氏）

●決議（可決）ひきこもり支援推進を求める決議◇就農者と共に「未来ある農業」を守り・育てるための決議

●請願（採択）中央タウン西二丁目1及び11付近の雨水対策に関する請願◇総合型地域スポーツクラブ活動拠点確保に関する請願

# 会議だけじゃないんです！議会

定例会から定例会の間、議会では意見交換会の実施や先進事例の視察等、活発な活動を行っています。今回は9月定例会から12月定例会までの2カ月間の動きをご紹介します。



## 11月9日 取手市の課題は何？市民と意見交換

11月9日、今年2回目となる市民との意見交換会「議員と語る現在と未来！皆さんの意見が政策提言に！」を取手市役所藤代庁舎で開催しました。市議全24人、市民22人が参加。この中には市内の高校に通う生徒6人の参加もあり、多世代の意見を伺うことができました。

今回の意見交換会も前回と同様に2部制で行い、第1部は、常任委員会ごとに三つのグループに分かれ、「空き家問題」「健康（健幸）づくり」「これからの農業」について話し合われました。第2部も引

き続き三つのグループで、参加者から自由に意見を頂きました。今回頂いた要望・意見は、現在の各常任委員会で現状等を調査し、改選後の委員会に引き継がれる予定です。



意見交換会

## 10月30日 市職員とひきこもり支援 視察

10月30日、福祉厚生常任委員会は神奈川県横須賀市へ「ひきこもりの方への支援」について、市の関係課職員と視察訪問をしました。横須賀市役所には保健所が併設されていて、ひきこもりの方や、そのご家族の方などが集まる場を設けたり、家庭訪問や就労体験などさまざまなアプローチを行っています。今任期中、福祉厚生常任委員会は関係課と協力してひきこもり支援に特に力を入れて調査しました。

## 11月19日 独自改革を進める公立中学校を視察

11月19日、遠山・齋藤・阿部・金澤議員と、伊藤教育長をはじめ市教育委員会職員で東京都千代田区立麴町中学校を視察しました。同校では工藤勇一校長を中心に「クラス担任制の廃止」「宿題なし」「中間・期末テストの複数回試験可」等を導入し、中学校教育ではこれまで当たり前とされていたことを、次々と独自目線で改革しています。工藤校長からは「生徒たちの自立を促すことで、一人一人が存在を尊重し合い、いじめのない学校の実現や、生徒が社会に出てからの活躍に期待する」と熱い思いが語られました。

その時  
議会が  
動いた

2016年2月の任期開始から  
4年間の取手市議会を振り返る



2月15日



9月



9月



12月

2016



6月



6月



11月



9月



12月

2017



2018

2月

5月



8月



3月



6月

### 4年間の記録

本会議日数…16 定例会・8 臨時会  
合計 105 日

委員会開催回数…総務 47 回  
福祉 31 回  
建設 25 回  
議運 65 回  
特別 51 回  
(市外行政視察を除く。特別は予算・決算・女性の合計)

議案審議件数…市長提出 424 件  
議員・委員会提出 64 件

請願・陳情審議件数…請願 49 件  
陳情 61 件  
(陳情は 2018 年 7 月 1 日以降の受付分から配付のみ)

傍聴者数…本会議 2,133 人  
全員協議会・委員会 485 人



12月

### 議会改革度ランキング

- 2018 年度 13 位
- 2017 年度 17 位
- 2016 年度 18 位

※早大マニフェスト研究所調べ (全国の都道府県市区町村 1788 自治体の中から回答のあったうち)



11月

取手市議会の活動の詳細は市ホームページへ



議長・副議長は誰に？  
そして議会組織はどうなる？  
改選後の初議会（臨時会）は  
2月17日（月）

取手市議会と議会事務局は、これからもチーム議会で「議会愛」を持って活動していきます。4年間ありがとうございました！